

事項	ソラマメウイルス2 (BBWV2) によるながいもウイルス病の発生														
ねらい	本県産ながいもにおいて、ソラマメウイルス2 (BBWV2) によるウイルス病の発生が確認され、その特徴が明らかとなったので、防除対策上の参考に供する。														
指導	<p>1 発生状況</p> <p>BBWV2は、県内各ながいも産地で発生していた。そのほとんどは、ヤマノイモえそモザイクウイルス (ChYNMV) との重複感染であった。県外では、これまで秋田県、群馬県、埼玉県、長野県、山口県、韓国のやまのいも類で発生が確認されている。</p> <p>2 特徴</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>ソラマメウイルス2 (BBWV2)</th> <th>ヤマノイモえそモザイクウイルス (ChYNMV)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ながいも葉での病徴</td> <td>モザイク、縮葉、葉脈透化、奇形</td> <td>モザイク、えそモザイク</td> </tr> <tr> <td>伝染方法</td> <td>種苗伝染、アブラムシ伝染</td> <td>種苗伝染、アブラムシ伝染</td> </tr> <tr> <td>自然感染植物</td> <td>ながいも、そらまめ、リンドウ、トルコギキョウ等</td> <td>ながいも</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) BBWV2とChYNMVの重複感染は、ChYNMV単独感染株の病徴と見分けがつかない場合もあるが、激しいえそモザイク症状、あるいは縮葉、奇形を伴ったえそモザイク症状といった、激しい病徴の株に多く見られるようであることから、BBWV2はChYNMVとの重複感染により症状を激化させると考えられる</p> <p>3 防除対策</p> <p>病株は抜き取って処分し、種いもとして使用しない。ウイルスフリー株による種いもの更新を図る。殺虫剤を散布してアブラムシを防除する。特にBBWV2はそらまめを始め多くの作物に感染することが知られているので、他のほ場と近接している場合は防除を徹底する。</p>			項目	ソラマメウイルス2 (BBWV2)	ヤマノイモえそモザイクウイルス (ChYNMV)	ながいも葉での病徴	モザイク、縮葉、葉脈透化、奇形	モザイク、えそモザイク	伝染方法	種苗伝染、アブラムシ伝染	種苗伝染、アブラムシ伝染	自然感染植物	ながいも、そらまめ、リンドウ、トルコギキョウ等	ながいも
項目	ソラマメウイルス2 (BBWV2)	ヤマノイモえそモザイクウイルス (ChYNMV)													
ながいも葉での病徴	モザイク、縮葉、葉脈透化、奇形	モザイク、えそモザイク													
伝染方法	種苗伝染、アブラムシ伝染	種苗伝染、アブラムシ伝染													
自然感染植物	ながいも、そらまめ、リンドウ、トルコギキョウ等	ながいも													
参考															
考															
内															
容															
期待される効果	ウイルス病の発生の特徴を明らかにすることにより、早期発見が可能となり、本病のまん延を回避できる。														
利用上の注意事項															
担当	青森県グリーンバイオセンター 微生物工学研究部	対象地域	県下全域												
発表文献等	平成14年度 日本植物病理学会大会 (予定)														

【根拠となった主要な試験結果】

表1 青森県産ながいもにおけるBBWV2の発生状況 (平成13年 青森グリーンバイオ)

サンプル採取地	検定数	BBWV2	ChYNMV
青森県東北町A	6	4	6
東北町B	3	1	2
天間林村	5	1	5
十和田市	5	0	5
三沢市A	7	0	7
三沢市B	2	1	2
三沢市C	10	6	10

- (注) 1 ウイルス症状を示した葉を採取して検定
 2 BBWV2：ソラマメウルトウイルス2
 3 ChYNMV：ヤマノイモえそモザイクウイルス

表2 BBWV2のながいもへの戻し摂取 (平成13年 青森グリーンバイオ)

接種法	接種株数	発病株数
アブラムシ接種	3	2
カーボランダム接種	3	0
切りつけ接種	3	0

(注) 接種源は、BBWV2感染 *Chenopodium quinoa*



写真1 BBWV2に感染したながいもの病徴 (縮葉症状)